（写）

通知

準備会中部は以下の如き闘争綱領草案を与へ各支部に配布し全ての大衆的な討論に附する。各支部読者会又は日常闘争を強力に展開すると共に指導部への方針をたて討議して意見を上申されたし。

一九二八、九、三

新党準備会本部

各支部 各支部聯合会 御中

闘争綱領草案趣旨、

我等準備会は次の如き闘争綱領草案を決定した。旧労農党のそれと面目を異にしてゐる。その理由を簡単に左に述べる。

一、新党の革命は我等が指示すべき階級的大衆党の任務と使命目的とを明らかに認識しなければならぬ。勿論新党は大衆党であり共産党ではない。即ち新党は秘密組織、階級的勢力の革命を目的とするものではない。その事が合法的大衆党として実現出来るかの如き事を云ふ事であるのが大間違である。合法的大衆党は労働者農民等の日常の利益の擁護伸長及び政治的自由のための闘争しか出来ないし又それを使命としない。而かもそこに大なる階級的意義が存するのである。

二、政治的自由獲得こそは大衆党の集中的目標でなければならない。それは金融資本閥の民衆の集中的要求であるからである。而してそれを入つ先頭に立すものこそ労働者農民無産婦人青年等の闘争を統一強化することが出来るのである。